

一般質問通告書

通告順番 2 番

通告者 時松 智弘 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 沖縄県先島諸島の国民保護に関する町の受け入れ計画と具体策は	政府がいわゆる「台湾有事」を念頭に沖縄県先島諸島の住民等約12万人の九州・山口地域への避難計画策定を進めている。熊本県は沖縄県宮古島市の一部を多良間村から約1万3千人を受け入れる想定としており、その受け入れ先を熊本市、阿蘇市、山鹿市、八代市そして大津町を選定している。大津町には千名を超える国民保護法に基づく避難者受け入れがあるとの報道が3月にあったが計画の内容と具体的な支援策を伺う。	町 長
2 総務省消防庁災害対応力強化研修の受講について	市町村長が、災害の警戒段階から発災後に至る重要な局面での確かつ迅速な判断や指示を行えるようにするためには訓練や研修が非常に重要である。災害発生時の実務は熊本地震を経験した本町において役場職員の実務能力を各段に向上させているが、町長自身の能力向上と研鑽は欠かしてはならない。総務省消防庁では市町村長の災害対応力の強化を図るための研修を行っている。受講し指揮能力の向上を行う考えはないか。	町 長
3 高層建築物の安全対策について	町内には高層建築物が増加している。発展著しいのは喜ばしい事だが、災害発生時の町のアキレス腱となつてはいけない。防災対策も含め建設の計画段階から指導などは適切に行えているのか。現状を伺う。	町 長